

2018年(平成30年)8月30日(木) NO 125号

K-PURO NEWS

【事業所】

| | | |
|--------|-----------------------|---|
| ◆ 商号 | 株式会社 ケイプロ | http://www.k-puro.co.jp |
| ◆ 屋号 | 都市防犯プランニング社 | mail info@k-puro.co.jp |
| ◆ 本社 | 埼玉県蕨市中央 1-7-1 シティタワー蕨 | TEL 048-446-9445 |
| ◆ 千葉支店 | 千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル | TEL 043-243-6110 |

【業務内容】



| | |
|----------|---|
| 機械警備事業 | 弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用 |
| 防犯カメラ事業 | 周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置 |
| メンテナンス事業 | 消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い |



【加盟団体】



| | | |
|---------|-----------------|---|
| RID2770 | 川口モーニングロータリークラブ | http://kawaguchi-morning.jp/ |
| NPO 法人 | さいたま起業家協議会 | http://www.saitama-kk.org/ |
| 公益社団法人 | 千葉東法人会 | http://www.chibahojin.jp/ |
| 一般社団法人 | 千葉市中央区倫理法人会 | http://www.rinri-chiba.org/ |
| 公益財団法人 | モロロジー研究所 | http://www.moralogy.jp/ |

【応援団体・企業】



今月の言葉

何人かで撮った集合写真を手にしたとき、真っ先に目に行くのはどこでしょうか。多くの方は「自分」を探すでしょう。

私たちが最も関心を持っているのは、ほからなぬ自分自身なのです。

私たちには、自分中心に物事を考える傾向があるようです。

それは誰もが持つ心のはたらきでしょう。

これを無理に押さえ込もうとするより、まずは「そうした傾向がある」ということ自体を認めてみましょう。

すると気持ちが少し楽になり、「別の視点からも考えてみよう」という思いも生まれてくるのではないのでしょうか。



今月の良い話 偉人を育てた母

北野武は東京都の足立区で、父・菊次郎と母・さきの中に五男として生まれます。彼の本名である「武」という名前は、竹のようにどんなものにも耐えて、すくすくと伸びてほしいとの願いを込めて命名されました。

武の母・さきは独自の教育論を持ち、教育を第一に考える女性でした。

若い頃から頭の回転の速い女性だった彼女は、子どもたちの教育と成長を何よりも大切に



考え、さきは子どもたちが 10 歳になるまでは、毎晩欠かさず鉛筆を削り、ノートにきちんと学習の後が記されているかを確認していました。

朝 10 時になると、学校へ足を運び、教室の窓から子どもたちが勉強する様子を見守っていたというのです。それほどに彼女は教育熱心な女性でした。

.....
貧しかった北野家では、小さな裸電球の下のみかん箱のような机で、子どもたちが勉強していました。しかし、父・菊次郎が帰ってくると電球が明るくて眠れないと怒鳴ります。そこでさきがどうしたかと言うと、大きな懐中電灯と塩むすびを携えて、近所の街灯の下へ出かけていくのです。そこでしゃがんで本を読む子どもたちを、ずっと懐中電灯で照らしていたというのだから驚きです。教育熱心だった彼女のエピソードは他にも多く残っています。

.....
そんな母・さきですが、武が「ツービート」として有名になり始めた頃から、お金を母に納めるよう、しつこく訴えるようになりました。武は母も金の亡者になってしまったのかと半分あきれていたそうです。しかし、後になって真実が明らかになります。

さきが亡くなる数か月前のことでした。武は軽井沢に母を見舞いに行き、その帰りに姉から包みを受け取ります。さきからだというのです。堤を開けた武は息を呑みました。

それは彼名義の郵便貯金通帳と印鑑だったのです。

さきが武から小遣いとしてねだり受け取っていたお金は一銭も使うことなく、すべて彼のために貯金されていたのです。その総額は一千万円近くにも達していたそうです。

さきはいつも、「芸人はいつ落ち目になるかわからない」と彼を案じていました。

彼の人気が無くなっても困らないようにと、お金を貯めておいたのです。

彼はこの包みを握りしめ、涙が止まらなかったといいます。

.....
武は自ら母のことが大好きだと公言しています。

「30 歳を過ぎて親を許せない奴はバカだ」とも言っています。

1999 年 8 月、さきが亡くなったお通夜の記者会見で、武は「かあちゃん……」と絶句し、カメラや人目をはばからず体軀をふるわせて泣き崩れました。いかに彼の中で母の存在が大きかったかよくわかる出来事でした。このように海よりも深い愛情と熱心な教育、心を尽くした母・さきの子育ては北野武の心に大きな影響を与え、類まれなる才能を育てたのです。

////////////////////////////////////
北野 さき (タレント 北野武の母) 記事提供 致知出版社

今月の良い話

湯ぶねの教訓

嘉永五年の正月、翁は門人の家（箱根町湯本）の温泉に数日入湯しておられた。門人の兄の大沢精一が翁のおともをして入浴した際、翁は湯ぶねのふちに腰かけて、こうさとされた。

——世の中では、そなたたちのような富者が、みんな足ることを知らずに、飽くまで利をむさぼり、不足を唱えている。それはちょうど、おとながこの湯ぶねの中に突っ立って、かがみもせず、湯を肩にかけながら、湯ぶねが浅すぎるぞ、ひざまでも来ないぞと、どなるようなものだ。もしも望みにまかせて湯をふやせば、小さい子どもなどは湯にはいれなくなるだろう。だからこれは、湯ぶねが浅いのではなくて、自分がかがまないことが間違いなのだ。この間違いがわかってかがみさえすれば、湯はたちまち肩まで来て、自然と十分になるだろう。ほかに求める必要がどこにあるか。

世間の富者が不足を唱えるのは、これと何ら変りはない。



およそ、分限を守らなければ、千万石あってもなお不足だ。ひとたび分に過ぎた過ちを悟って分度を守れば、余財がおのずからできてきて、十二分に人を救えるはずだ。この湯ぶねが、おとなはかがんで肩につき、子どもは立つて肩につくのを中庸とするように、百石の者は五十石にかがんで五十石の余財を譲り、千石の者は五百石にかがんで

五百石の余財を譲る。これを中庸というべきだ。

もし町村のうちで一人この道をつむ者があれば、人々はみんな分を越えた過ちを悟るだろう。人々がみんなこの過ちを悟って、分度を守ってよく譲れば、その町村は富み栄えて平和になること疑いない。古語（大学）に「一家仁なれば一国仁に興る。」といているのは、このことだ。よく心得なければならぬ。

仁というものは人道の極致であるが、儒者の説明はやたらにむずかしいばかりで、役に立たない。身ぢかなたとえを引けば、この湯ぶねの湯のようなものだ。

これを手で自分の方へかき寄せれば、湯はこっちの方へ来るようだけれども、みんな向うの法へ流れ帰ってしまう。

これを向うの方へ押ししてみれば、湯は向うの方へ行くようだけれども、やはりこっちの方へ流れて帰る。すこし押しせば少し帰り、強く押しせば強く帰る。これが天理なのだ。

仁といたり義といたりするのは、向うへ押しするときの名前であって、手前にかき寄せれば不仁になり不義になるのだから、気をつけねばならない。

いったい、人のからだの組立を見るがよい。

人間の手は、自分の方へ向いて、自分のために便利にもできているが、また向うの方へも向いて、向うへ押しせるようにもできている。これが人道の元なのだ。

鳥獣の手はこれと違って、ただ自分の方へ向いて、自分に便利にしようにしかできていない。

だからして、人と生れたからには、他人のために押し道がある。

それを、わが身の方に手を向けて、自分のために取ることばかり一生懸命で、先の方に手を向けて他人のために押しすることを忘れていたのでは、人であって人ではない。

つまり鳥獣と同じことだ。なんと恥かしいことではないか。

恥かしいばかりでなく、天理にたがうものだからついには滅亡する。

だから私は常々、奪うに益なく譲るに益あり、譲るに益あり奪うに益なし、これが天理なのだと教えている。よくよくかみしめて、味わうがよい。

二宮尊徳翁（福住正兄・原著 佐々井典比古・訳注）

記事提供 致知出版社

事件ファイル NO125 コインパーキングの駐車位置注意

コインパーキングに駐車する際の注意点
(盗難防止)

- カバンや財布は車内に絶対置かない
→ 車上荒らし被害の確立が非常に高くなる
- 駐車場所は人通りや入出庫の多い駐車場
→ 周辺視認性が高まり望ましい
- 駐車位置は道路側の出入口付近や清算機付近
→ 周辺視認性が高まり望ましい



(物損防止)

- 初心者マークや高齢者マークの車の隣 → 接触される確率が高くなる
- 真っ直ぐに停まっていなかったり車や頭から停めている車 → 接触される確率が高くなる
- 車幅の広い車の隣 → 接触される(させる)確率が高くなる

プロ太の小話集 NO125 『お礼文』

秘書「社長、あたし田中さんのお礼文考えたんですけど・・・」

社長「俺はお前に考えてもらうために雇ってるんじゃない。お前は俺の言うことをタイプすりゃいいんだ！」

・・・翌日、取引先に届いた手紙・・・

拝啓 田中様

田中は最後に「よ」がつくから気をつけろ。あのバカはそれが親しみだと思ってやがんだ。えーと、この度のお問い合わせの商品につきましては、・・・おい佐藤！アレの卸値はいくらだ！あ？、2千円か、じゃあ4千円にしよう。当社も利益を度外視しまして、単価4千円でご用意することが可能かと存じ上げます。4千円はあのバカのだ分だ。ご連絡いただき次第、100個お送りいたします。バカの「よ」のやつ、たらふく食わせた挙げ句に高級クラブまで連れて行ってやったのに、なんてセコイ注文なんだ。これだからケチな田舎もんってやつは困る。これからも未永くお取引いただけますよう、あとは適当に決まり文句を並べとけ！

敬具



今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

最近のニュースは名門企業や有名学校、監督官庁等々の不祥事が目立ちます。粉飾決算からデータの改ざん、体罰や障害者雇用の水増しなど連日枚挙に暇なく報道されています。



SNSの発展により拡散する速度や量が著しいことも要因の一つと考えられますが、何か日本人の勤勉さ・誠実さが失われている気がしてなりません。

今一度、二宮尊徳翁ら偉人の言葉を学び、道徳心を取り戻す時期が来ている気がします。

注：プロ太とは、写真のK-PURO番犬です (体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)